

事業者向け GRIPキッズ 一之江校放課後等デイサービス自己

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	改善案・対応について
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4	1	指定基準以上のスペースは確保出来ております	
	②	職員の配置数は適切であるか	4	5	0	児童2名に対して職員1名の割合で配置しています。	活動や行事内容に合わせてそれ以上の職員を配置するように努力しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	1		バリアフリーとは言い切れませんが、死角が少ないので、常に職員が見守る中で安全を確保したうえで活動を行なっています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	5	0		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	0	自己評価の結果を全職員で共有し、改善点などを話し合い、安心して過ごせる空間の提供に努めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	2		自己評価表の集計、改善案の立案後には記載しHPでの公開を行っております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	0		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	4	2		各種研修会や会議への積極的な参加を促し、職員全員のスキルアップに努めています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	0	モニタリングの他にも、日頃の送迎時に児童の目標達成に向けた課題や現状を保護者様に報告、共有することができています。	最低6ヶ月に一度はモニタリングを行い、目標の達成度や課題を保護者様と共有して作成しています。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	5	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	4	1		おおまかな活動目標を定め、それに沿って職員間で話し合いながら活動プログラムを決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	0		出来るだけ多くの児童たちが楽しく、多く参加できるようなプログラムの立案を心がけています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3	0		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2	0		個々の児童の特性を十分に理解し、個別と集団の必要性を考慮したうえで作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	2		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	5	1		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	3	1	日々の記録以外にも、支援方法や児童に関して気になっていることを共有できるノートを各児童分用意し活用している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	6	0		
関係機関 や保護者 と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5	0	サービス担当者会議には児童発達管理責任者又は管理者のいずれかが参画しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	2	0		送迎時や連絡帳での必要な情報の取得や提供に努め、トラブルが起こらないように事前に送迎時や連絡帳での連絡調整に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	1		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5	1		

この連携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5	1		
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	4		現状では障害のない児童との関わりを持てる機会を設けてはいません。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	6	1		現状では参加していない為、今後は情報収集出来る機会として参加していけるよう検討していきたいと考えています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	3	1	モニタリング以外にも目標達成に向けた中間評価の作成をし、保護者様とより目標達成に向けた現状の把握をこまめにしていく。	送迎時や連絡帳、モニタリングの機会に目標達成に向けた現状の把握や、今後の課題についての共通理解に努めています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	2		
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4	1		利用契約書・重要事項説明書に沿って説明を行い、同意を頂いております。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2	1		保護者様の抱えておられる悩みやご相談には、適時対応しております。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	2	現在は出来ていませんが、今後は、親子参加型のイベントや講演会などの開催も検討していきます。	講演会は本年度1度行いましたが、保護者同士が連携をとれる機会の開催には至っていません。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3	0		苦情に対する相談窓口・苦情解決責任者・窓口担当者を設定しております。苦情解決マニュアルも作成し、迅速に対応できるようにしております。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	6	2		
	③5	個人情報に十分注意しているか	7	1	1		書類関係は鍵のかかるキャビネットで厳重に管理しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	3	0		個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	2		
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	5	1		
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2	1		4.9月に避難訓練を年2回定期的に行っております。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	4	2		虐待防止マニュアルを作成しております。事業所内に虐待防止責任者を配置しております。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	6	0	やむを得ず行わなければならない場面があった際には、保護者様に事前の説明と至った経緯・拘束行為の説明を行います。	事前の同意書の作成は出来ておりませんが、身体拘束マニュアルを作成しております。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3	0		アレルギーの有無に関しては契約時に必ず確認しており、支援中にも確認できるような表を活用しています。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4	1			